

約 100 年にわたり活躍した登録有形文化財の現役駅舎が引退へ…
諏訪ノ森駅西駅舎を仮駅舎に切り替えます

南海電鉄（社長：遠北光彦）では「南海本線（堺市）連続立体交差事業」（事業主体：堺市）の進捗に伴い、5月24日（金）の営業運転終了をもって現在の「諏訪ノ森駅西駅舎」を閉鎖し、翌25日（土）の始発列車から、隣接して建設中の仮駅舎に切り替えます。

1919年（大正8年）から約100年にわたってご利用いただいた現在の駅舎は、この日をもって引退の運びとなりますが、同事業において今後、新駅舎の近くで来場者の集い・憩いの場などとして保存活用される計画となっています。

〈ご参考〉「南海本線（堺市）連続立体交差事業」について（堺市公式サイト）

<http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/rittaisuishin/honsen/index.html>

1. 仮駅舎の供用開始日

2019年5月25日（土）始発列車から

※前日（24日）の営業運転終了をもって現在の駅舎を閉鎖します。

2. 諏訪ノ森駅西駅舎について

諏訪ノ森駅は1907年（明治40年）に開業（当時の駅名は「北濱寺」）。1919年（大正8年）に駅が移設され現在の西駅舎が建設されました。木造平屋建ての小規模な駅舎ではありますが、入口上方の明かり取り窓には、浜寺から淡路島にむかっの海岸の様子が描かれたステンドグラスが5枚はめこまれるなど、工夫が凝らされています。現役で現存する木造駅舎の一つとして希少性は高く、1998年（平成10年）には浜寺公園駅駅舎とともに大手私鉄で初めて国の登録有形文化財として登録されました。

※駅の所在地：堺市西区浜寺諏訪森町西二丁78番地



諏訪ノ森駅西駅舎



ステンドグラス

※いずれも2019年5月9日撮影